



# コペル通信 / 20号

発行日 2026.1.20



たくさん笑って、  
たくさん食べて、  
冬の寒さを吹き飛ばせ!!



発行：社会福祉法人つどいの家

つどいの家・コペル内 コペル通信編集担当

発行責任者：佐々木 健

〒984-0838 仙台市若林区上飯田 1-17-58

TEL : 022-781-1571

FAX : 022-781-1573

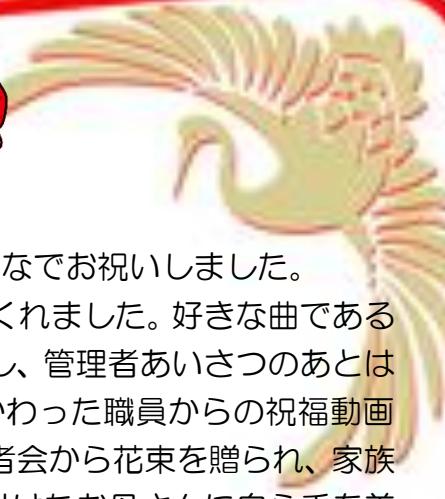
HP : <https://www.tsudoinoie.or.jp/koper/> →

Mail : [koper@tsudoinoie.or.jp](mailto:koper@tsudoinoie.or.jp)



# 祝

# 還暦！



今年の誕生日で60歳になるTさんの還暦を、誕生日前日にみんなでお祝いしました。普段はグループホームで生活していますが、実家の家族も出席してくれました。好きな曲であるサザンオールスターズ「チャコの海岸物語」と拍手に包まれて入場し、管理者あいさつのあとは職員が作ったこれまでの歩みを紹介するスライドと、これまでかかわった職員からの祝福動画を鑑賞しました。利用者みんなで作ったお祝いのアルバムと、保護者会から花束を贈られ、家族と一緒に、みんなと一緒に、記念撮影をしました。開会前に、駆け付けたお母さんに自ら手を差し出して握手する場面があり、ご家族も感慨深げでした。

(記・守)



## 目指せ、富士急ハイランド！！

還暦を迎えたTさんが選抜した利用者さん、職員でハリーポッターランドに行ってきました！園内では利用者さんがそれぞれ乗りたいアトラクションを選び、ハリーポッターランド、テレコムバット、コーヒーカップ、観覧車等に乗り、時間が許す限り、皆でアトラクションを楽しみました！！外出中は晴天で、空もTさんの還暦を祝っているようでした！また皆で出かけましょう！



(記・阿部)

# ～もりのみやこふれあいコンサート～

12月3日（水）にイズミティ21にて開かれた「もりのみやこのふれあいコンサート」に参加してきました。このコンサートでは仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆さんがあんコンサートを含めた計11曲を披露してくださいました。間近で感じるオーケストラの演奏は迫力がすさまじく、利用者の皆さんもその力強さを肌で感じ、初めは驚きを感じつつも楽しんでいました！今回のコンサートではただ聴くだけでなく、演奏に合わせて観客が手拍子をする曲目もあり一体感を感じながら素敵な音楽を堪能することができました。12月という寒さが目立つ時期ではありますが演奏の熱量と参加した方々の興奮で会場は熱気に包まれており、冬であることを忘れるほどでした！オーケストラに馴染みがない方でも夢中になることができる最高のイベントでした！まだ参加したことがない利用者さんにもぜひこの楽しさを味わってほしいなと思います！（記・三塚）



## 「Koper The Live 2025」開演♪

去る12月8日（月）にSさんこと「lulu」がプロデュースする「Koper The Live 2025」が開催されました。スペシャルゲストとしてつどいの家・アプリの大越桂さんをお招きし、ライブでは歌やダンスでヒートアップ！フィナーレは大越桂さん作詞、lulu作曲の新曲「花火」を披露、みんなで歌いました。アンコールも飛び出し、楽しい時間を過ごすことができました。

（記・梅津）



# 続・おかわり管理者の もう一枚

つどいの家コペル  
管理者 佐々木 健



画:小岩憲子さん

10月はまだ暑さも残っており、「残暑が厳しいですね」と話をしていましたが、ハロウィンが終わり、街の装飾がクリスマスに向けてのイルミネーションに変わってくると急激に寒くなり、装飾だけではなく肌でも冬の到来を感じる今日この頃です。

さて、役割として管理者をしておりますと福祉サービスに従事する職員の育成に関わることが増えてきました。育成とは言いますが、一方通行ではなく共に成長していくことをイメージしながら、丁寧に伝えること意識して取り組んでいます。研修会の中で、「愚行権」について話をすることがあります。皆さんには、愚行権という言葉を聞いたことはありますでしょうか?言葉通りではあるのですが、「他者に迷惑を及ぼさない限り周囲から愚かだと思えることを行う権利」という意味で使われる言葉です。しょうがいのある方を支援する職員はご本人の事を考えるあまり、正しいことを押し付けてしまうことがあります。「甘い飲み物は糖尿病になるかもしれないからお茶にしましょう」など、先回りして支援してしまいます。しかし、職員側は、自分の体に悪いとわかっているながら、たばこを吸い、お酒を飲み、甘い物を食べ、ギャンブルをします。体や生活を害することはわかっているながら自分で選択して行っています。結果、不利益が起り後悔し、「またやってしまった…」という気持ちを抱えて生きているはずです。私だけではないはず…もしくは自分で判断して我慢を選び悶々としている人もいるでしょう。しかし、しょうがいのあるご本人は、自分自身の不利益になることを理解するのに時間がかかる、意思表出が上手くいかない、わかりやすく説明がなされないまま、「こちらの方が良いですよ?」と促されることがあります。職員もご本人にとって不利益になってしまいるのは良くないという「やさしさ」からの支援ですが、本人意思を阻害してしまうことになります。支援者は常にご本人の思いを阻害してしまっているのではないか?ご本人が望む選択を望む形で実現することはできないか?問い合わせ続ける姿勢が大切です。この話をするとすべて愚行権ですか?で捉えてしまう職員もいますが、そうではなく我々は常に「どちらかではなく、どちらでもある」という柔軟な思考が必要です。だって私たちは人間ですから。

## ☆ボランティア紹介☆

Q ボランティアを始めるきっかけは?

ボランティア募集のチラシを見たことがきっかけです。20年間介護の仕事をする中で読み聞かせもしていました。

Q コペルで読み聞かせをしてみてどうか?

「いらっしゃい」と声を掛けていただいたらほんの少しの笑いかけがありとか、通じ合う何かを頂き励みになっています。また、皆さんの顔を思い浮かべながら行う図書館での選書も楽しみながらさせていただいています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



はさまきよこ  
間清子さん

画・小岩憲子さん



## ～編集後記～

明けましておめでとうございます。去年の4月から入職して1回目の新年を迎えました。まだまだ覚えることが山積みですが、気持ちを新たに、仕事を頑張りたいと思います。そんな私は冬の道路の運転が初めてです。これからの時期のツルツルした道路に怯えております。安全運転で事故なくいきたいものです。(記・梶原)

